

今回のコンサートでは、イギリスの作曲家によるヴィオラ作品を取り上げています。ヴィオラという楽器の音色・表現力を活かし、イギリスの風景を思い描けるような曲を選んでおります。また、演奏ではロレンツィオ・ストリオーニの製作したヴィオラを使用します。この選曲と楽器により、存分にヴィオラの魅力を味わっていただけたらと考えています。(筒井はるみ)

🎵 演奏で使用するヴィオラについて

使用するヴィオラは、ロレンツィオ・ストリオーニがクレモナにて1791年に製作したものです。ロレンツィオ・ストリオーニは1744年11月10日クレモナで生まれ、1816年1月10日に同地で71才の生涯を閉じています。ストラディバリやガルネリー族の次の世代にあたり、18世紀クレモナ黄金期の巨匠達の最後の一人と評価されています。また、1780年から1800年頃の作品が彼の黄金期と言われています。

🎵 演奏者のプロフィール

☆ ヴィオラー 筒井はるみ

東京藝術大学音楽学部及び同大学院専攻科を修了。その間、ヴィオラのソリストとして第一人者であるウィリアム・プリムローズに師事。東京音楽大学講師、東京都交響楽団員を経て、ハンガリーのリスト音楽院に留学。ハンガリーにて日本人として始めてソリストの国家資格を取得。海外及び日本各地でヴィオラ独奏者、室内楽奏者として演奏活動を行っている。2006年音楽の友社より出版されたデヴィット・ドールトン著「ヴィオラ奏法」(ウィリアム・プリムローズとの対話)の日本語訳の監修を行う。

☆ ピアノー 鳥井俊之

東京藝術大学卒業、同大学院修了。イタリアとスペインにて研鑽を積む。第1回日本モーツァルト音楽コンクールピアノ伴奏部門入選以来、東京藝大、二期会、日生劇場、東京オペラ、東京オペラプロデュース、横浜シティオペラ等で多くのオペラの伴奏を行う。第一級の伴奏ピアニストとして多くの著名な声楽家と共演する。繊細で品格ある演奏には定評がある。作曲家として「ねぶり流し物語」、「久保田城下町 押し花の恋」、合唱組曲「薔薇の世界」、ミュージカル「クニマスのはいのち色」等の作品がある。また、伴奏者としての功績により第32回秋田県芸術選奨受賞。ソロピアニストとして東京にて6回のピアノリサイタルを開催。斬新なプログラムで毎回好評を博す。最近では、オペラの指揮者としても活動の場を広げている。東京芸術大学オペラ科講師、二期会オペラ研修所講師、聖霊女子短期大学教授を経て、現在聖徳大学音楽学部教授。